



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 大研医器株式会社

コード番号 7775 URL <http://www.daiken-iki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 満

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 玉牧 健二 TEL 06-6231-9917

四半期報告書提出予定日 平成28年10月31日 配当支払開始予定日 平成28年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年3月期第2四半期の業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,180	3.6	853	3.0	854	2.2	626	7.5
28年3月期第2四半期	4,035	2.1	828	6.3	836	7.2	583	11.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	20.90	20.88
28年3月期第2四半期	19.45	19.43

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	10,308	6,869	66.6
28年3月期	10,136	6,512	64.2

（参考）自己資本 29年3月期第2四半期 6,863百万円 28年3月期 6,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
29年3月期	—	7.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	9.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,550	3.5	1,740	2.6	1,750	2.7	1,200	4.1	40.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期2Q	31,840,000株	28年3月期	31,840,000株
29年3月期2Q	1,849,257株	28年3月期	1,849,257株
29年3月期2Q	29,990,743株	28年3月期2Q	29,990,784株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成28年11月17日（木）に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この決算説明会の資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
4. 補足情報	
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策効果による、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調にありました。しかしながら、中国を始めとした新興国経済の下振れ、英国のEU離脱問題や米大統領選挙等、世界経済の動向や国際的な金融市場の変動リスク等を注視していかなければならない状況が続いております。

また、当社を取り巻く事業環境は、高齢化の進展による手術数の増加、院内感染や医療事故防止対策の推進により、国内外において医療用消耗品のニーズの拡大が続いております。

さらに、医療機器産業はわが国の経済成長に寄与し得る産業として期待され、「健康・医療戦略推進法」及び「独立行政法人日本医療研究開発機構法」の公布、医工連携を促す医療機器開発の支援体制等、国内医療機器産業の発展への素地は整いつつあります。

しかしながら、平成26年11月に施行された「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」により規制緩和が進み、国内外の異業種からの新規参入や既存メーカーの新分野への積極的な取り組みなど、他メーカーとの競合が予想されます。また、製造販売業者に対し、製造販売後の安全管理体制の一層の充実・強化、市場に対する責任の明確化を要求され、引き続き業界を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、ユーザーと密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに高度先進医療分野への研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間の経営成績の分析は次のとおりであります。

① 売上高

売上高は、4,180百万円（前年同期比3.6%増）となりました。これは主として、主力の吸引器関連において、病棟用のキューインポットが好調に推移したこと等によるものです。

② 営業利益

営業利益は、853百万円（前年同期比3.0%増）となりました。これは主として、人件費及び研究開発費の増加により販売費及び一般管理費が増加したものの、売上の拡大により売上総利益が増加したこと等によるものです。

③ 経常利益

経常利益は、854百万円（前年同期比2.2%増）となりました。これは主として、助成金収入等の営業外収益が減少したものの、営業利益が増加したこと等によるものです。

④ 四半期純利益

四半期純利益は、626百万円（前年同期比7.5%増）となりました。これは主として、経常利益の増加に加えて、税率の引き下げにより法人税等が減少したこと等によるものです。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（イ）資産

流動資産は、前事業年度末に比べて5百万円減少し、6,199百万円となりました。これは主として、製品が86百万円増加したものの、現金及び預金が36百万円、受取手形及び売掛金が53百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて177百万円増加し、4,108百万円となりました。これは主として、建設仮勘定が235百万円増加したこと等によるものです。

（ロ）負債

流動負債は、前事業年度末に比べて60百万円減少し、2,601百万円となりました。これは主として、設備関係支払手形が206百万円増加したものの、未払金（流動負債「その他」）が210百万円、未払法人税等が62百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて124百万円減少し、837百万円となりました。これは主として、長期借入金が119百万円減少したこと等によるものです。

（ハ）純資産

純資産は、前事業年度末に比べて356百万円増加し、6,869百万円となりました。これは主として、繰越利益剰余金が剰余金の配当により269百万円減少したものの、四半期純利益を626百万円計上したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べて36百万円減少し、2,266百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（イ）営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、583百万円（前年同期比108百万円増）となりました。これは主として、法人税等の支払いが297百万円、未払金の減少が140百万円あったものの、税引前四半期純利益を849百万円、減価償却費を90百万円それぞれ計上したこと等によるものです。

（ロ）投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、140百万円（前年同期比1,186百万円減）となりました。これは主として、有形固定資産の取得により130百万円支出したこと等によるものです。

（ハ）財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、479百万円（前年同期は803百万円の収入）となりました。これは主として、配当金を270百万円支払い、短期借入金を50百万円、長期借入金を154百万円それぞれ返済したこと等によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、通期の業績につきましても、現時点では平成28年3月期決算短信（平成28年5月13日公表）に記載いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想につきましては本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○ 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,302,435	2,266,040
受取手形及び売掛金	2,785,425	2,732,275
製品	553,000	639,489
仕掛品	50,970	44,756
原材料	279,472	287,066
繰延税金資産	146,210	146,210
その他	88,490	84,246
貸倒引当金	△189	△189
流動資産合計	6,205,816	6,199,894
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	746,617	732,515
土地	1,703,670	1,703,670
建設仮勘定	984,143	1,219,915
その他（純額）	262,506	236,499
有形固定資産合計	3,696,938	3,892,601
無形固定資産	68,077	56,566
投資その他の資産		
投資有価証券	5,269	5,389
繰延税金資産	40,081	40,044
その他	153,057	145,618
貸倒引当金	△32,398	△31,748
投資その他の資産合計	166,009	159,304
固定資産合計	3,931,026	4,108,472
資産合計	10,136,843	10,308,366

（単位：千円）

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	863,178	856,779
短期借入金	400,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	289,952	254,952
未払法人税等	307,781	245,012
未払費用	384,571	378,082
賞与引当金	—	23,701
設備関係支払手形	39,745	246,700
その他	377,458	246,573
流動負債合計	2,662,686	2,601,802
固定負債		
長期借入金	940,092	820,116
その他	21,430	16,955
固定負債合計	961,522	837,071
負債合計	3,624,209	3,438,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,875	495,875
資本剰余金	505,204	505,204
利益剰余金	6,015,639	6,372,655
自己株式	△510,004	△510,004
株主資本合計	6,506,714	6,863,730
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△80	2
評価・換算差額等合計	△80	2
新株予約権	6,000	5,760
純資産合計	6,512,633	6,869,492
負債純資産合計	10,136,843	10,308,366

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	4,035,634	4,180,213
売上原価	1,919,874	1,983,203
売上総利益	2,115,759	2,197,009
販売費及び一般管理費	1,287,570	1,343,632
営業利益	828,189	853,377
営業外収益		
受取利息	204	68
受取配当金	177	104
未払配当金除斥益	290	749
受取補償金	2,703	554
助成金収入	5,609	90
保険解約返戻金	—	779
貸倒引当金戻入額	—	650
その他	2,463	613
営業外収益合計	11,446	3,609
営業外費用		
支払利息	3,180	2,160
その他	0	171
営業外費用合計	3,180	2,332
経常利益	836,455	854,654
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	—	1,650
特別利益合計	—	1,650
特別損失		
固定資産除却損	910	7,082
特別損失合計	910	7,082
税引前四半期純利益	835,545	849,221
法人税等	252,166	222,289
四半期純利益	583,379	626,932

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	835,545	849,221
減価償却費	87,107	90,680
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△650
受取利息及び受取配当金	△381	△172
支払利息	3,180	2,160
売上債権の増減額(△は増加)	25,865	53,150
たな卸資産の増減額(△は増加)	49,721	△87,867
仕入債務の増減額(△は減少)	△86,566	△6,360
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,437	23,701
固定資産除却損	910	7,082
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	—	△1,650
保険解約返戻金	—	△779
助成金収入	△5,609	△90
未払金の増減額(△は減少)	△156,372	△140,893
未払費用の増減額(△は減少)	△8,444	△6,488
未払又は未収消費税等の増減額	△85,416	64,009
その他	15,576	38,108
小計	699,554	883,160
利息及び配当金の受取額	365	135
利息の支払額	△3,410	△2,106
法人税等の支払額	△226,254	△297,368
助成金の受取額	5,609	90
営業活動によるキャッシュ・フロー	475,863	583,911
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,319,569	△130,732
無形固定資産の取得による支出	△6,269	△17,667
ゴルフ会員権の売却による収入	—	5,650
保険積立金の解約による収入	—	1,376
その他	△1,397	915
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,327,236	△140,457
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,200,000	—
長期借入金の返済による支出	△226,876	△154,976
配当金の支払額	△269,878	△270,396
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	△50,000
リース債務の返済による支出	—	△4,475
財務活動によるキャッシュ・フロー	803,245	△479,848
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△48,127	△36,394
現金及び現金同等物の期首残高	2,131,065	2,302,435
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,082,938	2,266,040

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の製品群別に記載しております。

① 生産実績

製品群	生産高（千円）	前年同四半期比（%）
吸引器関連	1,202,297	+15.5
注入器関連	602,779	+9.4
電動ポンプ関連	22,299	△43.8
手洗い設備関連	160,549	+13.4
その他	95,396	+6.9
合計	2,083,321	+11.9

（注）1 金額は製造原価によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当社は、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

③ 販売実績

製品群	販売高（千円）	前年同四半期比（%）
吸引器関連	2,624,990	+5.3
注入器関連	1,067,227	+1.5
電動ポンプ関連	44,574	△2.9
手洗い設備関連	326,557	+1.5
その他	116,863	△5.9
合計	4,180,213	+3.6

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。